

藪波地区タウンミーティング 意見交換概要

日 時 平成 28 年 8 月 3 日 (水)
場 所 藪波公民館
出席者 48 名 (男 45 名、女 3 名)

市政一般に対する意見交換

【産婦人科誘致の現状について】

(市民) 産婦人科の誘致の現状や進捗状況について教えてほしい。

(市長) 産婦人科の開設は、非常に大きな課題。24 年度から市内で分娩を取り扱う産婦人科を開設した人に 1 億円を助成する制度を設け、全国に募集をしている。しかし、産婦人科医そのものがおらず、非常に厳しい。北陸中央病院と医師会にも要望をしている。市外の病院に通院される人には交通費の助成をしている。

【ふるさと納税の状況について】

(市民) 小矢部市のふるさと納税の状況はどうなっているのか？

(市長) 27 年度は 45 件約 2,100 万円の寄付があった。総務省からは返礼品の過剰競争にならないようにとの指導もある。当市では、寄附金の 30% を上限として返礼品を定めている。

【保育所の統廃合について】

(市民) 保育所の統廃合について、現在の藪波保育所では、統合保育所としては敷地が狭すぎるので大きな敷地で立派なものを建設してほしい。

(市長) これからの議論になる。ご意見として承っておく。

【人口減少対策について】

(市民) 人口減少対策について、出産、子育て、教育に対する予算のインパクトが弱いのではないか。苦しい予算の中でも、人口減少対策関係の助成を増やせば人口が増えるのではないだろうか。

(市長) 人口減少の要因は様々であるが、自然減の一番の要因は少子化。社会減は若年層が流出していくことである。市民生活の質の向上をはかっていく必要があると思っており、子育て支援の充実、教育関係の充実、住環境の充実の 3 つに力を入れ、若年層の流出対策に取り組んでいきたい。

【宿泊施設（ホテル）の誘致について】

(市民) 小矢部市は交流人口が増えているが、大切なお客様に泊まってもらう場所

がない。富山と金沢の真ん中で交通の便も良いので、ホテルを誘致してほしい。

(市長) 今年度から宿泊施設立地助成制度を設けた。投資額の5%を助成する制度で、ホテル誘致の呼び水になると思っている。駅周辺の変化を企業は注視しており、駅周辺の利便性が向上することを説明している。

【イノシシ対策について】

(市民) イノシシ対策について電気柵の申請を市にしたところ、全て承認していただき感謝している。今後もイノシシは出てくると思うので、また対策をお願いしたい。

(市長) 電気柵については、要望があれば設置したい。電気柵で追い込んでも個体数を減らさないと、問題は解決できない。北信越市長会でも、イノシシの問題が議題にあがる。捕まえたイノシシの処理が、特に問題になっている。庁内でしっかりと議論したい。

【防災訓練について】

(市民) 富山県は災害が少ないが、いつ災害が起こるかわからない。藪波地区は山間部から平地までであるため、同じ地区でも町内によって、違った防災対策が必要だ。共栄団地では、昨年防災の出前講座をしてもらった。今年は第二弾として、共栄団地の住民はどういうふうにとどこへ避難するかを市の担当から具体的に教えてもらいたい。共栄団地の町内単位での防災訓練をしてほしい。

(市長) 防災対策は訓練に勝るものないと思う。浸水被害や地震の場合など、どこに避難するかを訓練することが、極めて重要だ。